

「核兵器のない世界を」署名推進ニュース

発行：原水爆禁止福岡県協議会

電話・FAX 092 741 9146

電子メール アドレス：fgensuikyo@aqua.plala.or.jp 2009年3月7日 No. 2

2010年NPTにおいて決意のスタート

2009年3・1ピキニデー参加者の決意 8月までに1000人署名を

私は今回初めて3・1ピキニデーに参加させていただいたのですが、いままで知らなかったことが多く、驚きの連続でした。正直会場につくまでは、ピキニデー集会はどこか遠くのこのように感じていました。それはいままでこのような集會に参加したことがなく、テレビや新聞などで見るだけでした。それは傍観者だったからです。

ところが会場に着いてみて大変驚きました。会場を埋める全国各地からの参加者たち。私の知らないところでこんなにも多くの方が、行動されていたということを知り、いままで何も行動してこなかった自分が恥かしくなりました。

今回参加して収穫だったことは、自分の無知を知ることができたこと、たくさんの仲間が全国にいることがわかり、行動する勇気もてたこと、ヒロシマ以外の視点から核の問題を考えることができたこと、実際に自分の足で歩いて見なければわからなかったことがわかったこと—の4点でした。

これからもこのような行動に参加し続けていきたいです。まず8月までに、1000人署名を目指します（福岡、女、21歳、初参加 分科会の感想文から）。

新署名グッズの注文続々と

3・1ピキニデー後、署名用紙をはじめ署名グッズの注文が全国的に相次いでいます。

神奈川（署名用紙2万枚）、東京（同1万枚）、高知（同5千枚）、長野（2,500枚）、沖縄（同2000枚）岐阜、福島（同各1000枚）、沖縄県原水協は、署名用のぼり10本、カラーリーフ5000枚を注文しました。

福岡県でも、(有)北九州保健企画：被爆展示組み写真1、国際署名ポスター3、国際署名のぼり2セット、財団法人健和会：国際署名顔写真ポスター11、国際署名横断幕4、同のぼり7セットの申込がありました。

署名カラーリーフを活用しよう

カラーリーフによる署名が、全国各地から日本原水協に寄せられています。新婦人県本部が呼びかけているカラーリーフによる署名、とりわけ北九州からの署名が全国各地の中でも群を抜いて多いという報告が寄せられています。

カラーリーフ（A3変形版10円）は、4名記入できる署名用紙がハガキ大で印刷されており、“核兵器のない世界を”署名運動についての日本と世界の運動が簡潔に紹介され、好評を呼んでいます。

みなさんのところでも積極的に活用しましょう。

意見ポスター、早くも申し込みが

非核日本宣言とアピール、核兵器のない世界を意見ポスター運動は、いま、呼びかけ人を募っているところですが、早くも協力申込が寄せられています。